

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	信託期間は無期限です。
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
主な組入制限	①投資信託証券への投資割合等には制限は設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の50%未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。)当ファンドは分配金再投資専用とします。

○お問い合わせ先

クローバー・アセットマネジメント株式会社

〒102-0075 東京都千代田区三番町 5 番地 37

三番町葵ビル

連絡先:03-3222-1220

<http://www.clover-am.co.jp/>

受付時間：月曜日～金曜日午前9時～午後5時

(土日祝日を除く)

浪花おふくろファンド

第6期 運用報告書

—決算日 2014年3月3日—

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「浪花おふくろファンド」は、2014年3月3日に第6期の決算を行いました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落) 円	投資信託受益 証券組入比率 (%)		純資産総額 (百万円)
		税込分配金 (円)	期中騰落率 (%)	
(設定日) 2008年4月8日	10,000	—	—	70
1期 (2009年3月3日)	6,338	0	△36.6	179
2期 (2010年3月3日)	8,714	0	37.5	401
3期 (2011年3月3日)	9,357	0	7.4	589
4期 (2012年3月5日)	9,060	0	△3.2	704
5期 (2013年3月4日)	10,299	0	13.7	744
6期 (2014年3月3日)	13,274	0	28.9	810

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク（参考指数）が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

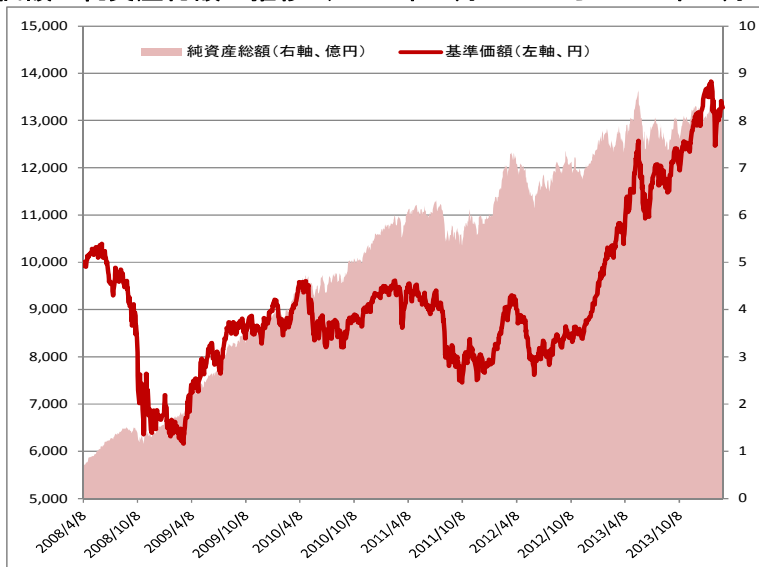
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額 (円)	投資信託 受益証券 組入比率 (%)	
		騰落率 (%)	組入比率 (%)
(期首) 2013年3月4日	10,299	—	86.0
3月末	10,659	3.5	88.0
4月末	11,508	11.7	90.6
5月末	11,783	14.4	93.0
6月末	11,101	7.8	86.3
7月末	11,733	13.9	90.8
8月末	11,506	11.7	92.2
9月末	12,411	20.5	90.0
10月末	12,543	21.8	94.2
11月末	13,071	26.9	96.0
12月末	13,548	31.5	95.0
1月末	13,168	27.9	92.9
2月末	13,319	29.3	92.5
(期末) 2014年3月3日	13,274	28.9	92.5

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク（参考指数）が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

■設定来の基準価額と純資産総額の推移（2008年4月8日から2014年3月3日まで）



■当期の運用概況

基準価額は、期初 10,299 円、期末 13,274 円と当期は 28.9%の上昇となりました。

当期のマーケットの状況は、日本市場においては前期からスタートしたアベノミクスが、日銀の黒田総裁の登場により明確に推進されてきた一年でありました。5月以降、反動による日経平均の下落はありましたが、大規模な金融緩和による円安・株高は、2020年東京オリンピック招致決定後、急速に進行していきました。終盤は、具体的な成長戦略（第三の矢）に対して、市場からは期待薄との声も聞かれますが、株価は、調整局面に入っているものの実質的な企業業績の改善、雇用の拡大、賃金上昇の兆しが見え始めました。

米国においては、2012年9月にQE3を実施、株価の上昇を伴う順調な回復を背景に、バランスを取りながら慎重に出口に向かう道を模索する期間でありました。12月上旬に、出口戦略の具体的なスケジュール（縮小の時期とボリューム）が発表されるまでは、良好な経済指標の発表が、逆に量的緩和の急激な縮小を連想させ、米国株式市場の下落につながるというねじれ現象が続きました。日本のマーケットも少なからずその影響を受けました。

ヨーロッパのマーケットも、ギリシャ、スペイン、ポルトガルの財政危機が、期前半には懸念され、調整がありましたが、ECBの果敢なかじ取りにより、危機を脱し、期終盤には、緩やかながら回復基調に入ってきました。

ただ、新興国では、米国の金融緩和の縮小懸念により、2013年8月頃より資金の流出がささやかれ始め、2014年初からの米国の金融緩和縮小を機に、アルゼンチンのデフォルト懸念、

それが新興国経済全体への不安に広がり、世界中のマーケットが連鎖的に調整に入りましたが、徐々に落ち着き始めています。

こうした中、おふくろファンドは、8月末、新興国からの資金流出を想定し、コムジェスト・エマージングファンドを一部売却、ハリスグローバルバリュー株ファンドに追加投資いたしました。結果、10月からの上昇相場に乗り1月23日の基準価額(13,831円)が設定来高値となりました。

■今後の運用方針

慎重ながら、粛々と実行されてゆく米QE3の縮小、それに伴う新興国の不安定な経済状況、中国経済の減速、日本の消費税UP、などさまざまな不安要素があります。しかし、ドル高に裏打ちされた旺盛な個人消費と企業活動の活性化を見せつける米国、年初から、明確な企業業績の回復と賃金の上昇も見え始めデフレ脱却に歩を進めてきた日本、危機を出しつつあるヨーロッパと先進国を中心とした成長の流れは、結果的に前期ほどの急速な伸びではないでしょうが、ゆっくりと株価に反映されると考えています。その中でも特に、上昇余地の大きい日本の株式市場に期待を寄せております。また、本格的な海外からの中長期の投資も日本市場に入ってきておらず、本格的な上昇はこれらだと思っております。ただ、昨年秋にあったような市場全体の急速な上昇というよりは、個別企業の選別が徐々に進んでゆくと思われまますので、信頼のおけるアクティブファンドの、さらなる選別をすすめてゆく予定です。

■分配金の状況

当期の分配金につきましては、基準価額の水準及び市場動向を勘案した結果、収益分配は見送らせていただきました。また、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳(1万口当たり)

項目	当期(円)
当期分配金(税込み)	0
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,702

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

■ 1万口（元本 10,000円）当たりの費用明細

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬	114 円
（ 投 信 会 社 ）	(74)
（ 販 売 会 社 ）	(37)
（ 受 託 銀 行 ）	(4)
合 計	114

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況

● 投資信託受益証券及び投資証券

投資信託受益証券

	買 付		売 付	
	単位数又は口数	金額	単位数又は口数	金額
国内	千口	千円	千口	千円
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007	12,905.447	15,000	-	-
			(-)	(-)
さわかみファンド	-	-	10,623.229	15,000
			(-)	(-)
TMA 長期投資ファンド	12,526.097	15,000	62,305.188	75,000
			(-)	(-)
コムジェスト・エマージング	-	-	24,281.892	28,000
			(-)	(-)
ひふみ投信	-	-	4,275.879	10,000
			(-)	(-)

(注1) 金額は受け渡し代金です。また単位未満は切捨てです。

(注2) 売付 () 内は、償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期における自己取引はありません。

■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 元本 (千円)	当期設定 元本 (千円)	当期解約 元本 (千円)	期末残高 元本 (千円)	取引の理由
—	—	—	—	

■組入資産の明細

●ファンド・オブ・ファンズが組入れた投資対象ファンドの明細

銘柄	当 期 末		
	単位数	評 価 額	比率
	千口	千円	%
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007	168,278.705	217,062	26.8
さわかみファンド	130,213.951	223,954	27.6
TMA 長期投資ファンド	138,816.481	186,985	23.1
コムジェスト・エマージング	9,789.193	11,963	1.5
ひふみ投信	44,644.381	109,405	13.5
合計 金 額	491,742.711	749,372	92.5
銘柄数 <比率>	5 銘柄 <92.5%>		

(注1) 投資比率は純資産総額に対する評価額の比率です。投資比率は四捨五入してあります。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	749,372	92.3
コール・ローン等、その他	62,567	7.7
投資信託財産総額	811,939	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。比率は四捨五入してあります。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
(A) 資産	811,939,559 円
コール・ローン等	62,567,193
投資信託受益証券 (評価額)	749,372,366
(B) 負債	1,881,539
未払信託報酬	1,881,539
(C) 純資産総額 (A - B)	810,058,020
元本	610,278,709
次期繰越損益金	199,779,311
(D) 受益権総口数	610,278,709 口
1 万口当り基準価額 (C / D)	13,274 円

■ 損益の状況

項 目	当 期
(A) 配当等収益	20,277 円
受取利息	20,277
(B) 有価証券売買損益	171,642,211
売買益	206,689,596
売買損	△ 35,047,385
(C) 信託報酬等	△ 7,453,054
(D) 当期損益金 (A + B + C)	164,209,434
(E) 前期繰越損益金	89,185,071
(F) 追加信託差損益金	△ 53,615,194
(配当等相当額)	(33,617,843)
(売買損益相当額)	(△ 87,233,037)
(G) 合計 (D + E + F)	199,779,311
次期繰越損益金 (G)	199,779,311
追加信託差損益金	△ 53,615,194
(配当等相当額)	(33,617,843)
(売買損益相当額)	(△ 87,233,037)
分配準備積立金	253,394,505

(注 1) 損益の状況の中で**(B) 有価証券売買損益**は期末の評価替えによるものを含みます。

(注 2) 損益の状況の中で**(C) 信託報酬等**には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) 損益状況の中で**(F) 追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

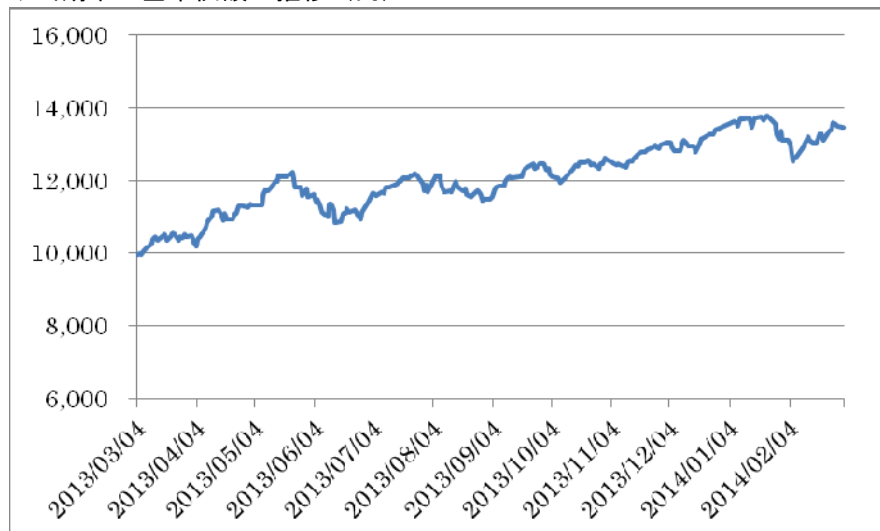
<注記> (本書作成時点では監査未了です)

■組入れファンドの運用内容

1 TMA 長期投資ファンド

現時点で入手できる当ファンドの直近の決算情報を採用しております。

◆当期中の基準価額の推移（円）



■親投資信託（東京海上長期投資マザーファンド）における組入状況（2013年5月15日現在）

株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	評価額（邦貨換算金額）	組入比率
			千円	%
1	キーエンス	日 本	141,245	4.9
2	セブン銀行	日 本	111,300	3.9
3	ミスミグループ本社	日 本	92,969	3.2
4	本田技研工業	日 本	92,070	3.2
5	シマノ	日 本	89,600	3.1
6	S.M.C	日 本	89,360	3.1
7	BG GROUP PLC	イ ギ リ ス	85,925	3.0
8	日本電産	日 本	83,520	2.9
9	リンナイ	日 本	82,800	2.9
10	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デ ン マ ー ク	80,196	2.8

(注)組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

株式 国別構成比率

資 産	国 名	構成比率
株 式		%
	日 本	59.3
	ア メ リ カ	15.7
	デ ン マ ー ク	4.6
	イ ギ リ ス	3.0
	ド イ ツ	2.5

(注)構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

債券組入銘柄

銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日	組入比率
(国債証券)	%	千円	千円		%
第14回利付国債(物価連動・10年)	1.2	100,000	112,202	2017/12/10	3.9

(注1)組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2)株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

■1 万口（元本 10,000 円）当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	45 円 (38) (3) (4)
(b) 売買委託手数料 (株 式)	13 (13)
(c) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)
(d) 保管費用等	2
合 計	62

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細（2013年5月15日現在）

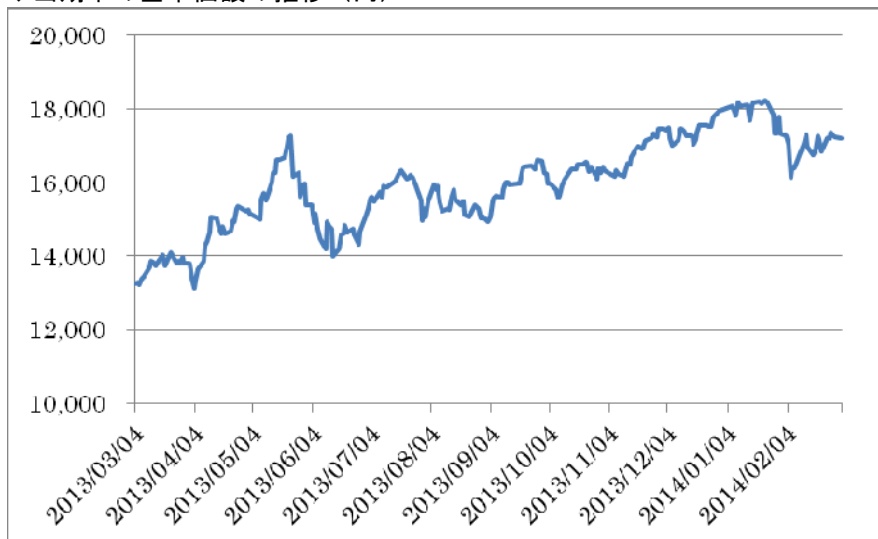
親投資信託残高

	期首（前期末）		当期末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
東京海上長期投資 マザーファンド	千口 2,219,111	千円 1,841,418	千口 2,307,077	千円 2,879,924

2 さわかみファンド

現時点で入手できる当ファンドの直近の決算情報を採用しております。

◆当期中の基準価額の推移（円）



◆売買及び取引の状況

株式

期中の売買状況(自 2012 年 8 月 24 日 至 2013 年 8 月 23 日)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株	千円	千株	千円
		5,178	5,378,901	36,397	31,274,585
		(△4,154)	(-)	(-)	(-)

注 1) 金額は受渡代金。

注 2) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

注 3) 単位未満は切捨。

◆株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	36,653,487 千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	252,241,449 千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.14

注 1) 期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。

注 2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の単純平均。

注 3) 単位未満は切捨。(c)は小数点以下 2 位未満切捨。

◆1 万口(元本 10,000 円)当たりの費用明細

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬	136 円
(投 信 会 社)	(75)
(販 売 会 社)	(47)
(受 託 銀 行)	(14)
(b) 売買委託手数料	1
(株 式)	(1)
合 計	137

注 1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

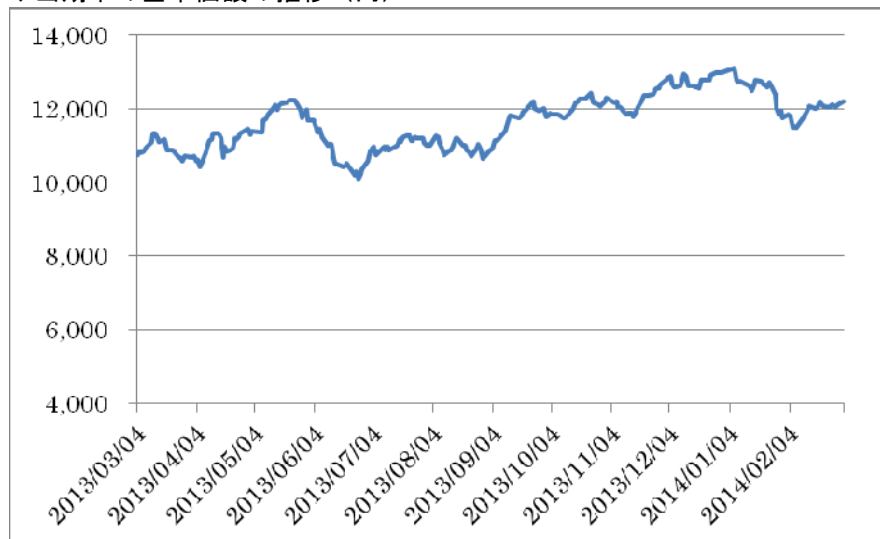
(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

注 2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

3 ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA

現時点で入手できる当ファンドの直近の決算情報を採用しております。

◆当期中の基準価額の推移（円）



◆組入れ上位銘柄（2013年12月25日現在）

第6期末				
	銘柄名	国名	主たる事業	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体製造	4.9%
2	CHINA MOBILE LTD	中国	電話通信サービス	4.5%
3	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	生命保険	4.1%
4	BAIDU INC ADR	中国	インターネット検索エンジン	3.8%
5	YANDEX NV-A	ロシア	インターネット検索エンジン	3.3%
6	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	生命保険等	3.0%
7	TENARIS SA-ADR	アルゼンチン	シームレスパイプ製造	3.0%
8	CIELO SA	ブラジル	クレジットカード決済サービス	2.9%
9	NATURA COSMETICOS SA	ブラジル	化粧品製造販売	2.9%
10	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	韓国	生命保険	2.8%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合

・第6期末の株式の保有銘柄数は 40銘柄でした。

・為替ヘッジは行っていません。

◆親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	
項目	当期
(a)期中の株式売買金額	2,627,481 千円
(b)期中の平均組入株式時価総額	3,675,243 千円
(c)売買高比率(a)/(b)	0.71

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◆1万口当たりの費用の明細

項目	当期
(a)信託報酬	118円
(投信会社)	(71)
(販売会社)	(35)
(受託銀行)	(12)
(b)売買委託手数料	17
(株式)	(17)
(c)有価証券取引税	3
(株式)	(3)
(d)保管費用等	26
合計	164

(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b)売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

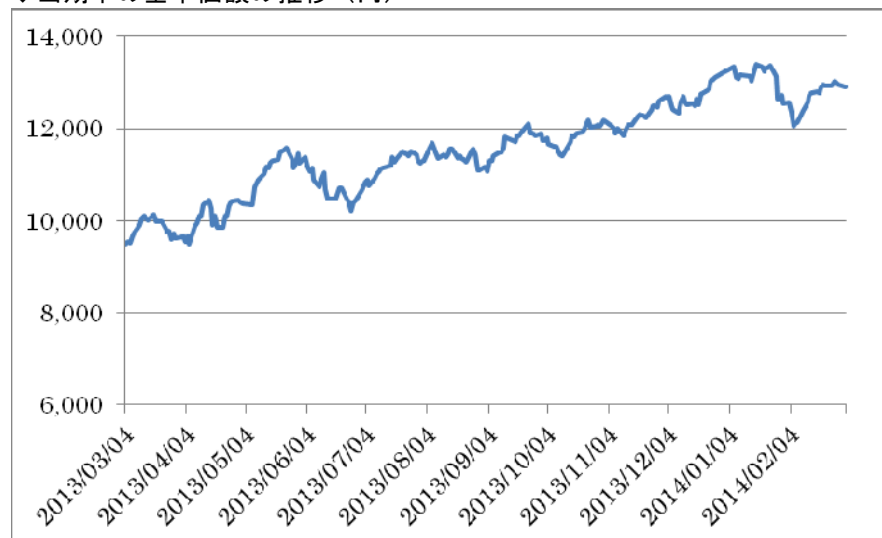
(注)各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

4 ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007

現時点で入手できる当ファンドの直近の決算情報を採用しております。

◆当期中の基準価額の推移（円）



●親投資信託受益証券の設定、解約状況（2012年3月10日～2013年3月11日）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	—	—	9,224,014	6,295,000

●組入資産の明細

親投資信託残高

(2013年3月11日現在)

種 類	期 首 (前 期 末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口	千口	千円
	13,096,702	3,872,688	4,178,631

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は、17,125,485千口です。

●1 万口(元本 10,000 円)当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	103 円 (80) (17) (6)
(b)	売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)
(c)	有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)
(d)	保 管 費 用 等	4
	合 計	113

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(項目ごとに円未満は四捨五入しています。)

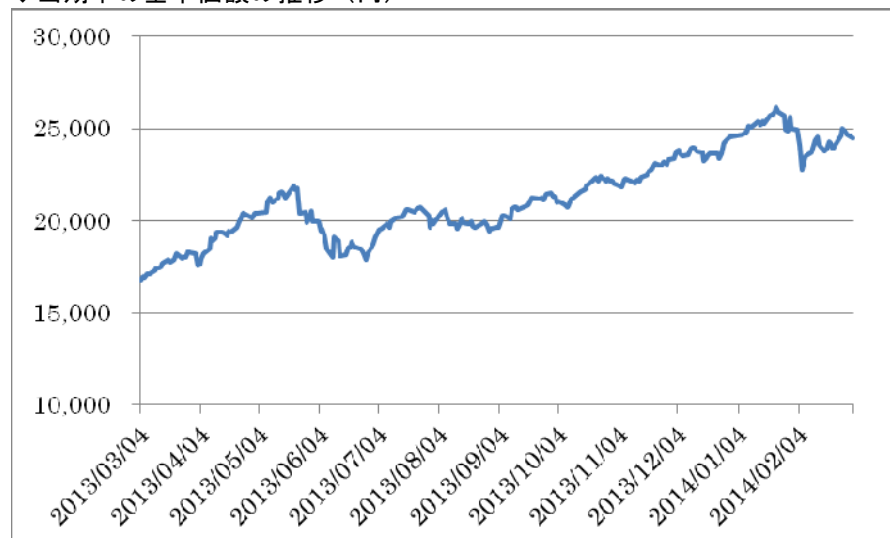
- (a) 信 託 報 酬 = $\frac{\text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率}}$
- (b) 売 買 委 託 手 数 料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
- (c) 有 価 証 券 取 引 税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
- (d) 保 管 費 用 等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

5 ひふみ投信

現時点で入手できる当ファンドの直近の決算情報を採用しております。

◆当期中の基準価額の推移（円）



○組入資産明細表

親投資信託残高

(2013年9月30日現在)

項 目	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評価額
ひふみ投信マザーファンド	2,629,270 千口	5,702,249 千口	9,039,776 千円

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2013年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ひふみ投信マザーファンド	9,039,776 千円	99.2 %
コール・ローン等、その他	72,557	0.8
投資信託財産総額	9,112,333	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

○ 1万口当りの費用の明細

当期中（2012年10月2日～2013年9月30日）に「ひふみ投信」の運用や管理のためにご負担いただいた費用です。日々の基準価額はこれらの費用を差し引いて算出されています。

項 目	当 期
(a) 信託報酬	179円
（投 信 会 社）	（ 82）
（販 売 会 社）	（ 82）
（受 託 銀 行）	（ 15）
(b) 売買委託手数料	84
（株 式）	（ 84）
(c) 保管費用等	1
合 計	264

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(a) 信託報酬：投資信託の運用・管理にかかる費用です。

(b) 売買委託手数料：株式の売買の際に発生する手数料等です。

(c) 保管費用等：監査費用等です。